

子ども
向け

千葉市

みずかんきょう

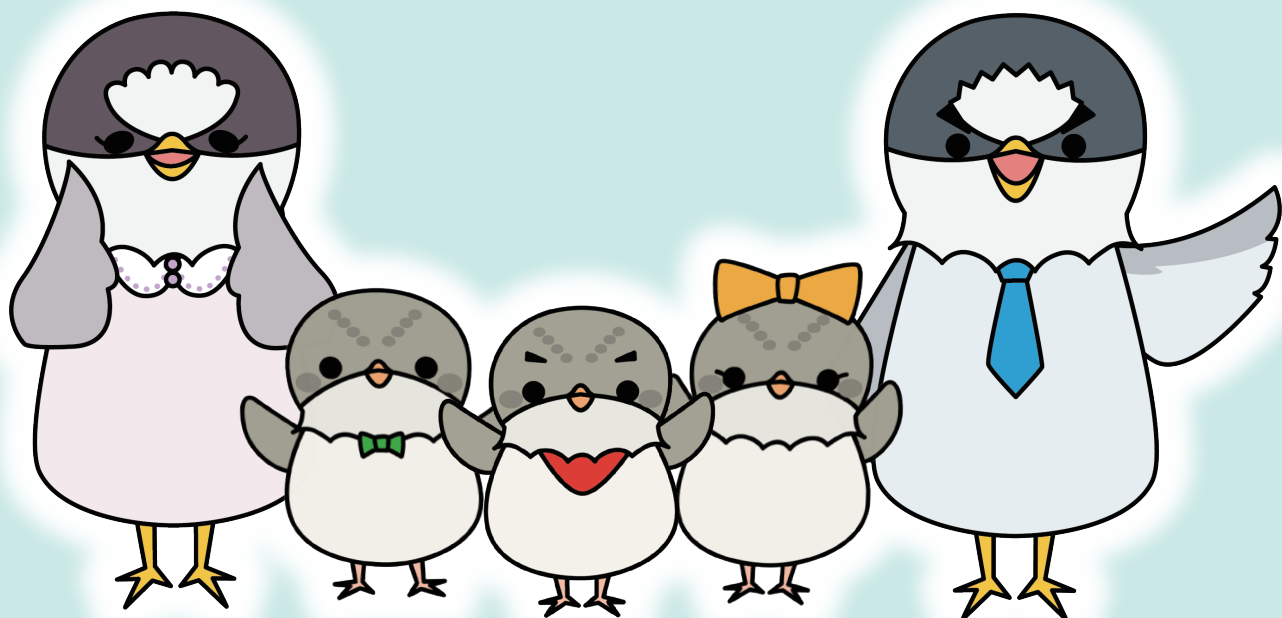
せいぶつたようせい

ほぜん

水環境・生物多様性保全計画

～水の環はぐくむ にぎわい輝く生命のつながりを

子どもたちの未来へ～



コアジサシ家といっしょに見ていきましょう。

計画期間 2023年度から2032年度までの10年間

2023年3月
千葉市

水と生き物のつながり

水は何に使われているかな？

わたし
私たちは、りょうり 飲み水、せんたく 料理、洗濯、お風呂、トイレなど、毎日水を利用しています。

また、畑や田で作物を育てるとき、牛や豚などを育てるとき、そして工場でものを作るときにも水は使われており、私たちの暮らしを支えてくれています。



水はどこからやってくるかな？

私たちが毎日使う水の主な源は川の水です。

海などから蒸発した水が、空で雲となり、雲から降った雨は川や地下水となつて、海に流れています。そして、海の水は再び蒸発して雨になります。

このように、水は地球上をめぐっています。

この水のサイクルによって、千葉市は、川、海、やつだ 谷津田などの豊かな水環境に恵まれています。



生き物にとって大切な水は、地球上をぐるぐるとまわっているんだ。

せいぶつたようせい めぐ
生物多様性とその恵み

生物多様性とは、すべての生き物に違いがあることです。私たちは、生物多様性がもたらすさまざまな自然の恵みに支えられており、大きく次の4つに分けることができます。

れい
自然の恵みの例

農作物や家畜などは大切な食べ物になり、樹木は家を建てるのに使われます。また、自然の中には薬の原材料になるものがあります。



森林により、土砂崩れが防がれたり、水の浄化などの効果があります。



生き物の作り出す自然は、レクリエーションや観光の場を作り出します。



植物は、動物に必要な酸素を作りだしたり、水をたくわえたりします。また、多くの生き物が生きる場にもなります。

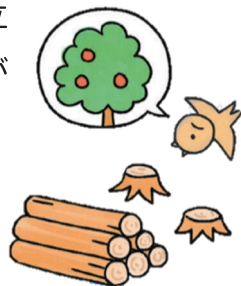


きき
生物多様性にせまっている危機！？

人間は、便利な生活ができるように様々な活動を行ってきましたが、一方で、自然によくない影響を与えています。

はかい
自然の破壊

森林の伐採や水辺の埋め立てなどで生き物のすみかが減少しています。



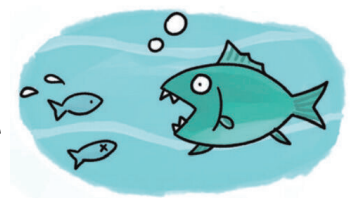
かんり ほうき
管理の放棄

里山の森林などの管理が不足しているため、そこをすみかとする生き物が減っています。



かんきょう おせん
環境の汚染

ほかの場所から人間によって持ち込まれた生き物が、もともからいた生き物に悪い影響を与えることがあります。



おんだんか
地球温暖化

温暖化は洪水などの異常気象の発生リスクを高め、生き物の生息・生育環境へ悪影響を及ぼしています。



しぜん 千葉市の自然



千葉市には、豊かな自然がたくさんあります。

どんな自然があるか探検してみましょう。

(必ず大人と一緒に出かけましょう。)

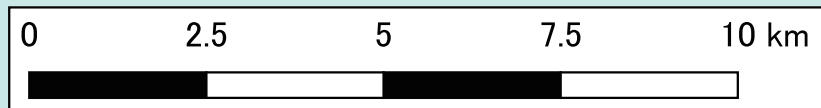


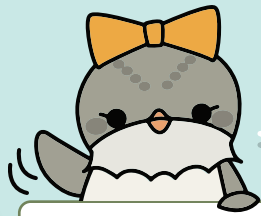
わ
我が家は
このあたりね。



りゅういき
流域区分

| |
|---------|
| 都川 |
| 鹿島川 |
| 花見川 |
| 村田川 |
| 浜田川 |
| 草野水路 |
| 浜野川 |
| 生実川 |
| 海域 |
| 谷津田保全区域 |





なかま
トリの仲間は
どこに居たかな？



ツリフネソウ



6



7



8



コサギ

5



9



10



ミナミメダカ



ヤマユリ



外来生物

さが
生き物探しは
必ず、大人と
いっしょ
一緒に行こう。



カミツキガメ

写真提供:千葉県生物多様性センター



セアカゴケグモ



アライグマ

外来生物を見つけた場合は、
さわ 触ったりつかまえようとしないで、
近くの大人や先生に教えてください。

千葉市の取組み

千葉市では、水の豊かさや、生き物がかかわりあう豊かな自然を守るための取組みを行っています。



取組みの柱1 みずかんきょう ほぜん 水環境の保全活用

千葉市は、多くの川が流れているほか、長い海岸線もあり、水環境に恵まれています。

水辺の環境や水質をきれいに保っていくことや、水環境についてみんなの理解が深まるような取組みなどを進めています。



取組みの柱2 せいぶつたようせい さいせい 生物多様性の保全再生

千葉市には、たくさんの自然環境が残されています。中でも、谷津田の自然にはいろいろな生き物や生き物が生みだす自然があります。

さまざまな原因で減ってきている自然を知り、守って、あたらしい緑を生み出す取組みなどを進めています。



取組みの柱3 すいしんたいせい せいび 計画の推進体制の整備

水環境や生物多様性を保全していくために、一人ひとりが現状を理解し、行動に移していくことが必要です。

そのために、必要な情報を提供していくほか、市民やボランティアなどみなさんとの連携や活動の手助けをしていきます。



ぐたいてき 具体的な取組みについて

たんさくたい いきもの探索隊

おうぼ おまわり みずかんきょう ほ
応募のあった小学校で水環境の保
ぜん しゅつちやうじゆぎやう
全について出張授業を行っています。

出張授業では、川や海にいる水の生
かんさつ すいしつちやうさ
き物の観察や水質調査などを行って
いて、「たくさんの生き物や水のことを
知ることができて楽しかった」とい
う声をいただいています。



やつだ 谷津田の保全

多くの生き物がいる谷津田を保全
するため、土地所有者、ボランティア
だんたい いっしょ
団体と一緒に保全をすすめています。

「大草谷津田いきものの里」や「坂月
しぜんかんさつろ せい
川ビオトープ」では、自然観察路を整
び じっし
備したり自然観察会を実施したりし
ているので、谷津田の自然を学ぶこと
ができます。



ほご コアジサシの保護活動

コアジサシの様子を調べたり、検見
けみ
川の浜に立入禁止のロープ柵や注意
がわ きんし さく
看板 かんばん せっち はんしよくち
を設置するなどして、繁殖地を守
る活動をしています。

コアジサシは、「市の鳥」にもなって
います。



ふれあい自然観察会

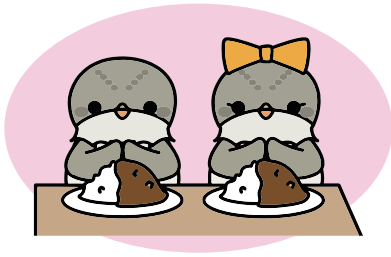
自然にふれあうための観察会を定
てい
期的 きてき
に開いています。

一人でも多くの方が観察会に参加
して、自然環境を知って、自然にやさ
しい生活ができるようになれるとい
いですね。



わたし

私たちにできること



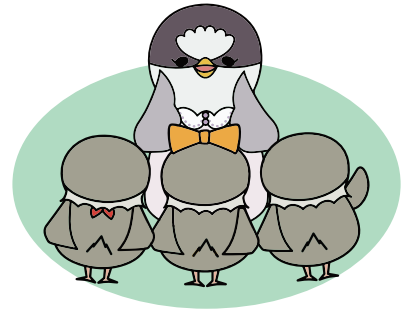
たべよう

地元でとれたものを食べ、旬しゅんのものを味わいましょう。



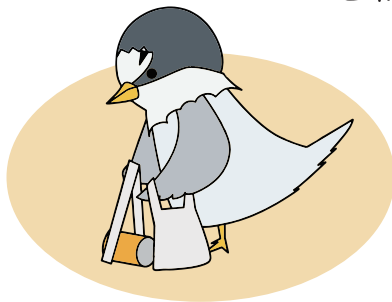
ふれよう

自然しぜんを身近に感じられる観察会かんさつかいなどに参加さんかしたり、動物園たずなどを訪ね、自然や生き物にふれましょう。



つたえよう

自然のすばらしさや季節きせつの移ろいうつろいを感じて、写真や絵、文章などで伝えましょう。



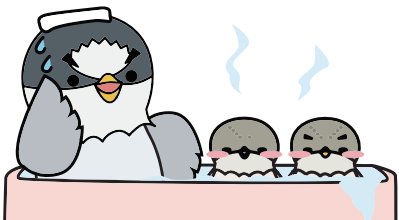
まもろう

生き物や自然、人や文化とのつながりちがひを守るため、地域や全国の活動に参加しましょう。



えらぼう

エコラベルなどが付いた環境かんきょうに優しい商品やさを選んで買いましょえらう。



私たちにできることを考えてやってみましょう。

発行元

【子ども向け】千葉市水環境・生物多様性保全計画

千葉市環境局環境保全部環境保全課

〒260-8722 千葉市中央区千葉港 1-1

TEL 043-245-5195 FAX 043-245-5557

E-mail kankyohozen.ENP@city.chiba.lg.jp



大切な自然をみんなで一緒にいっしょ守っていきましょう